

## 自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(1) 理念の明確化													
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	3	4			・センター入口に理念を掲げている。定期巡回随時対応型訪問介護看護の特徴である在宅生活が安心して維持できるように、利用者に寄り添ったサービス提供に努めている。	○			掲示してある事により職員も浸透していると思う。全員が集まることは難しいと思うが時々全員で唱和すると意識付けになると思う。	
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	1	6			・事業所内で研修を行い、認識と理念に添った援助を行うように努めている。	○			管理者がこぶし園の理念をしっかりと理解している事により職員にも自然に伝わっていると思う。どのような研修を行っているか。どのような研修が理念の理解を深めることに役立っていると思うか。	
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	2	5			・ヘルパー研修等、積極的に外部研修への参加を行っている。 ・日々の申し送りの中で助言等しオペレーターの判断能力の向上に努め、個人研修をしスキルアップに努めている。 ・オペレーターの判断などその都度アドバイスし向上する様に努めている。	○			コロナ過で外研修には参加が難しい状況ではあるが、研修委員を中心に希望する研修に取り組む事により参加率も多くなっている。研修の評価や人材育成を評価するための計画などがあるのでしょうか。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
<b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b>													
<b>(2) 適正な人材の育成</b>													
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務表を作る際にチェックを行い、職員の無理のない様、配慮している。</li> <li>・全職員が統一した援助が出来るように、又お互いがフォローできるように体制を考慮している。</li> <li>・</li> </ul>	○			どの支援にどれだけ時間がかかるか管理者が自らが訪問ルートに入り評価している。業務表を作る際、利用者の希望や状態、職員の能力やその開発等、多くの配慮がされていることと思う。		
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	3	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にフェニックスネットを有効活用し、利用者の特性、状況を共有し合っている。</li> <li>・一方で、カンファレンス等十分に行えていなく、理解、認識の機会が十分に確保されているとは言えない。</li> </ul>	○			カンファレンスもコロナ過により書面の場合も多かったと思う。タブレット内での訪問方法を進めてこれからの対応の仕方も視野に入れて進めていくと良い。カンファレンスが出来るように工夫をお願いする。タブレットの活用は情報の共有だけでなく、どのような対応をしたかなども確認できるため、有効に活用できるとよい。なお、どこの事業所にも言える事ですが、確認した場合はチェックを入れていただけるとありがたい。 フェニックスネットを十分に活用している。カンファレンスは定例化していないと時間がある時やろうでは開催できない事が多い。 より多く訪問されている介護スタッフが細かな記録を確認でき必要時には連絡を取る事が出来ていた。 フェニックスネットを有効に活用し、常に最新の情報を共有されているのは素晴らしいと思う。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
<b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b>													
<b>(2) 適正な人材の育成</b>													
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>急なDSの休みや、随時訪問など出勤職員間で連絡、調整し柔軟に対応できている。職員の勤務時間もその時間に合わせ変更している。</li> </ul>	○			<p>日々の利用者優先に業務を組みそれに合わせて職員も対応もされている。限られたスタッフで臨機応変な対応をしなければならず苦勞をされていると思う。出来ていると評価がついておりいいと思う。</p> <p>利用者の日々の状態に合わせ、急なサービス変更があっても柔軟に対応していただいた。短時間で必要なだけのサービスを提供する事ができており適切な時間で動いている。</p>		
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	1	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進会議で話し合った内容、書類やタブレット等を通して情報共有している。</li> <li>共有した地域の方の声、他事業所の意見等を参考にしているが、要望に対して対応ができていない。</li> </ul>	○			<p>実践業務に追われなかなか時間が取れない中工夫して情報共有に取り組んでいると思う。</p> <p>会議には適切に開催され、話合われた内容は共有されているようだが、要望に対しはどう対応されたのか考案がされているとよいと思う。</p> <p>具体的にどのような要望に対して対応できていないのか知りたい。</p> <p>推進会議の開催やタブレットによる情報共有が図られているのは把握しているが、推進会議でた要望や助言が反映させているかは不明。</p> <p>すぐに全てへの対応は困難かと思えます。要望に対して対応ができていない原因はなんでしたか？原因を明確にし徐々に対応ができることが増えていけばと思う。</p> <p>・年2回の限られた時間、回数ではありますが、今後も活発な意見交換が有効に活用されればと思う。</p>		

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない
事業所コメント				外部コメント							
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>											
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>											
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	3					○	ICT活用を有効に使用している。タブレットだけではなく利用者宅に連絡ノートを置いて記入したり電話連絡をしたりで情報共有に努力されていると思う。タブレットの活用はよくできていると思います。タブレットの活用による情報共有及び必要時の電話連絡をいただき迅速に共有できている。タブレット使用により報告書がととも見やすい。
<b>(5) 安全管理の徹底</b>											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	2	5					○	訪問防犯については今年度ココセコムで防犯ブザー導入しいくらか安心材料となった。夜間の防犯ブザーについてもマニュアルがあると安全出来ると思う。自動車運転について、月ごとに強化目標を策定することはとても効果的と思う。災害時の対応マニュアル、机上シミュレーション、実際の訓練を重ねるとより理解が深まりますね。夜間は一人での出入りとなることから、防犯対策はすぐにもマニュアル化し、安心して業務にあたれるようにする必要がある。 ・今後、作成の必要なマニュアルについては早急に検討をいただきたいと思います。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	3	4					○	十分に周知されている。必要最小限の個人情報の持ち出しの徹底と、できればタブレットや携帯電話は鍵のかかる場所での保管をおすすめする。タブレットの管理や事業所の施錠など行えている様子。「ほぼできている」が回答の半数を占めていますが、今後も個人情報の取り扱いについて慎重に取り組んでいただきたいと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
<b>II 過程評価(Process)</b>												
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>												
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>												
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	5	2					○	○	利用者等の生活背景も見ながら適切に援助を行っている。 アセスメントは適宜できておりいいと思う。 利用者がより安全に一日を過ごせるように、状況変化を見極め、状態に合った援助ができるとういと思う。 適切にサービス介入が行えていると感じる。随時必要なだけのサービスが提供できている。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	4	3					○	○	時に必要時には直接話し合いを設けて援助の方向性を確認し合う事も良いと思う。 コロナ過でより一層タブレットが有効利用されており介護医療のアセスメントが出来ていると思う。 アセスメントは適宜できておりいいと思う。 介護看護間でお互いに情報をやりとりしながら、必要な時に必要な援助を、遅れないように対応していきたい。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	2	4	1				○	○	しっかりと単身者に在特生活が続けられるよう「やりすぎない援助」を行っており、自立援助に向けて実践されている。 計画書はケアプランに基づいていると思いますので、長期・短期目標にわけて作成できたのはよかったです。利用者と一緒に考えることが大事ですね。 ケアマネや他のサービスと連携を図ることで現状維持でよいのか、より自立支援が必要なのかを共に検討されておりそれに合わせて対応していただいている。 ・自立に向けた援助のヘルパーとしても提案も必要とありますが、実際にどのような提案が必要か、また提案を行っているか具体的であると分かりやすいと感じる。 モニタリングやアセスメントにてしっかりとサービス提供出来ていると感じる。CMへの報告も出来ている。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
<b>II 過程評価(Process)</b>												
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>												
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>												
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	1	5	1				○		維持できる事は大切な事、介護度が比較的重い方がいる中で在宅生活が続けられているもは当事業所の働きによるもの。 自立されている方がいるは出来ていると考えていいのではないか。 先を見越した計画作成も出来るといい。 利用者家族とカンファレンスを実施されているという現状のようだが事業所コメントでもある様に先を見据えた計画も出来ると良いと思った。 実際の計画ではどのように立てられているのか確認できないが食が細い方に対して少しでも多く食べて頂くとう関わる姿勢が見られ努力されていると感じた。 在宅においては現状を維持することも重要です。どのような事が起こるとADLが低下するのか、病状が悪化するのかを、看護等から知識を得ながら予防的に関わるとより良いと思います。 利用者の状態に応じたリスク管理をしていただき、状態変化時の早めの連絡をいただいている。 将来的に現状維持も必要だと思う。
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>												
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	6	1					○		充分にできている。 利用者やご家族の生活に合わせたサービス提供をしていただいている。 必要により臨機応変に対応されていると思う。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	2	5					○		充分にできている。 月に1回のモニタリングをタブレットに入力していただき情報共有できている、それにより計画変更の必要性を検討できた。 タブレット使用にて仕事が早くCMへの連絡も早いと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				でき ている	ほ ぼ でき て いる	こ と が 多 い	全 く で き て い ない	でき ている	ほ ぼ でき て いる	こ と が 多 い	全 く で き て い ない
<b>II 過程評価(Process)</b>											
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>											
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	2	5			・専門性を生かした役割分担ができている。お互いの専門性を理解協力しながら、急変時は訪問看護に連絡し助言を得ている。	○		助言できているか心配な事もあるが互いに協力し合っていきたい。看護側の助言を聞いて対応して頂いていると思う。介護看護間で役割の違いはあると思いますが、それぞれの職種が互いの専門性を理解し、どのような視点でケアにあたっているかを意識してもらおうとさらに連携が強化されると思います。看護のことだから介護のことだから関係ない、というのではなく、チームとしてひとりの方をみて行けると良いですね。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	3	4			・月一回の看護のアセスメントでの助言だけでなく、日々の援助においてもタブレットなどを通し医療面の助言・指導がおこなわれている。	○		事業所側からどンドンNs等に働き掛けをしているのが感じられる。気付いた事など早めに連絡して対応して頂けたと思う。
<b>10</b>											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	2	5			・契約の際には情報提供説明を行い、ご利用者には契約時にサービス内容、契約内容を説明し援助の齟齬がないようにしている。 ・ご利用者、ご家族もその時は説明を理解できていても、時間が過ぎると忘れてたり、考えが変わってしまったりすることもあるので、その都度説明することが必要。	○		何度も繰り返し説明が必要。定期的に重要事項が変更になる事があるのでその際に改めて伝えてはどうか。契約時、サービス利用開始時、利用者やご家族に誤解の与えないよう丁寧に説明されている。必要に応じ、その都度情報提供、説明が行われているのは、ご利用者、ご家族にとっても安心してサービスを利用いただけると思った。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない	できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない
<b>II 過程評価(Process)</b>											
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>											
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>											
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	2	5					○	しっかりと説明できている。 ケアマネの作成したケアプランに基づき計画書を作成され、利用者やご家族に説明され共有できている。 一つ一つ説明し丁寧に対応されていると思う。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	3	4					○	連絡報告という大切な支援をしっかりと伝えている。 その都度の状態、状況に応じ電話をいただき報告受けている
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>											
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>											
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		7					○	状態の変化やそれに応じた計画、目標の変更の提案 いただいている。 フェニックスネットで随時確認できよと思う。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		7					○	状態の変化やそれに応じた計画、目標の変更の提案 いただいている。 常時CMへ必要な提案は行えていると思う。



タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				でき ている	ほ ぼ で き て い る	こ と が 多 い 不 足 が あ る	全 く な い 不 足 が あ る		でき ている	ほ ぼ で き て い る	こ と が 多 い 不 足 が あ る	全 く な い 不 足 が あ る	
<b>II 過程評価(Process)</b>													
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>													
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>													
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限りサービス担当者会議に出席し、日頃の状態や目標の達成状況について情報提供している。</li> <li>コロナウイルスの影響で担当者会議への出席が難しい場合は、タブレットや書面などを用い情報共有を行っている。</li> </ul>	○			<p>コロナ過で書面の話し合いもあったと思うが、きちんと対応し今後も新しい形で進めていく事も考えておくとよい。</p> <p>タブレットに入力して頂いて情報共有できていたと思う。</p> <p>昨今の状況では会議自体の開催が困難となっているため、ICTや書面での情報提供が中心となっている。</p> <p>自己評価の通りと思う。</p> <p>担当者会議にはおおむね出席して下さり、生活面に即した視点で情報提供や援助についての報告をいただいている。</p> <p>その都度、参加もしくは紹介にて情報を頂き感謝している。担当者会議の大切な情報共有の必要性を感じている。</p>		
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>													
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期巡回サービスでは時間的援助内容的に難しい時はケアマネに相談し、保険外のサービスを提案し利用している。また多職種での検討が必要な場合もケアマネに提案することはある。</li> </ul>	○			<p>少しでも必要な方に必要な援助をと取り組まれている。</p>		
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>退院の際にはケアマネから情報を提供して頂き、カンファレンスを行い退院後はすぐに生活できるようにサービスを調整している。</li> </ul>	○			<p>退院後あら新規受け入れになってもタイトな中でよく状態を把握しスタートされている。管理者や計画作成も熟練さが感じられる。</p>		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	事業所コメント
<b>II 過程評価 (Process)</b>												
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>												
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>												
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている <b>(※任意評価項目)</b>		3					○	・サービス担当者会議の場やフェニックスネット活用にて多職種による連携共有が行えている。	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>												
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>												
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	2	1	4				○	・事業所から地域への発信はほとんどできていない為、これからの課題である。	ぜひ力を入れて外へ発信して欲しい。難しいと思うが地域の住民への周知をお願いしたい。同時に医療機関への周知も。地域への発信についての評価は分からないので評価は難しい。地域への発信も願う。コロナ感染状況をみても仕方ない事もある。ケアマネの中にもサービスは知っているが、詳細までは不明というものもある。発信不足は否めない。地域とのコミュニケーションの場や会を開催する事で発表出来ていると思う。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		3	4				○	・町内会を通し事業所の説明、発信はしているが継続的なものでなく、地域全体の広報周知をいかにするかが今後の課題である。	難しいと思うが地域の住民への周知をお願いしたい。同時に医療機関への周知も。今後も頑張ってほしい。コロナ感染状況をみても仕方ない事もある。回覧板などを活用して定期的に広報をしてみようという手はありますか。ケアマネの中にもサービスは知っているが、詳細までは不明というものもある。発信不足は否めない。回覧等により地域の方に知ってほしい情報を目にしてもらおうと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く で き て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く で き て い ない	事業所コメント
<b>II 過程評価(Process)</b>												
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>												
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>												
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		2	5						これからだと思うので、情報が入ったら共有して欲しい。 日々努力している事と思う。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	4	2	1			○			広い範囲で展開を受け入れてくれている。 広く地域でサービス展開されており達成されていると思う。 新規依頼において、提供エリアかどうか不明であってもとりあえず相談に乗っていただいている。 地域が限られているがその中で助かっている人は多いと思う。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>		1	2						実践して行く中で地域に方のニーズや地域性を理解して今後進めていくとよい。推進会議から掘り出ししていくと良い。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
事業所コメント				外部コメント								
<b>Ⅲ 結果評価(Outcome)</b>												
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	4	3					○		達成だけでなく現状維持も評価の一つになっている。 目標達成に向けて計画を立て援助されていると思う。 目標達成についてはどうだったか評価されると良い。 計画に沿った援助、目標の達成度は常に意識し、より対象に合った支援ができると良い。 ご家族より、定期随時のサービスで利用者及び家族の生活の 安定が図れているという言葉をよく聞いている。 方向性を決め新しい目的を決めサービス事業所本人がゴールに向かい取り組んでいると思う。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	2	5					○		これだけ重度の方を支えていて在宅生活を維持させてくれている所はない。一番努力されていると思う。職員の負担も大きいだろうが協力し合い頑張ってもらいたい。 24時間365日の介入は利用者家族が受け入れている事が前提ですので自信を持って良いのではないのでしょうか。 夜間も定期で訪問したり必要時には訪問しており、ご本人、ご家族共に安心感を得られると共に、ご家族の介護負担も軽減し在宅継続が出来ていると思う。また、細かい所まで家族に助言されていると感じた。 具体的にどのような言葉を利用者の方から頂きますか。対象に合わせたきめ細やかなサービスが安心感を生み、在宅生活の継続につながると思います。 ご家族より、定期随時のサービスで利用者及び家族の生活の 安定が図れているという言葉をよく聞いている。 24時間という事もあり安心感はあると感じている。もしもの時は助けて頂けるとありがたい。